

三條別院のご案内



三條別院に想う

わが家と三條別院との関りは、町人文化華やかなりし江戸文化文政期に、初代が寺泊敦賀曾根から三條に薬種問屋「敦賀屋」（当時砂糖や菓子も貴重で同時に扱っており、その後菓子業へ）として開業してからの二百数十年余りとなりま

す。寺泊の本家も浄土真宗で、室町時代に、地名にもあるように現福井県敦賀市から移り住んだと聞いております。

長岡藩の城勤めをしていた二代目の妻が、宗偏流の茶道と池坊流の華道を教えていたことから、その息子である三代目は家業と共に宗偏流と池坊流をこの地で広く教授してまいりました。

そのような経緯から、今から百五十年程前に、三條別院の依頼で別院を中心にした一大茶会を亭主として催したと聞き及んでおります。当時は大きな時代の変革期であり、誰もが明日への不安を抱えながら生きており、茶会を開催するのに大変苦労したと聞いております。三代目を突き動かしたのは、この地が善くあつてほしいとの強い願いであつたと思われま

す。

十年程前に高校の友人でもある僧侶から、三條別院に研修にきている県内外の若い僧侶の為に、周辺をオリエンテーリングしたいのでチェックポイントになって話をしてほしいと頼まれ

真宗大谷派三條別院

TEL : 0256-33-0007

E-mail : sanjo-beisun@wing.ocn.ne.jp

この街について少々話をさせていだいたのは楽しい思い出です。

二年程前には、三條別院から親鸞聖人の七百五十回忌のお菓子を作ってみてはくれないかとの依頼に、一年程かけて納得のいくお菓子を作り、ご披露することができました。現在でも販売しており、ご法要のお菓子のことで来店される方には宗派をお聞きし、このお菓子の謂れ等を話したりすることもあり、これも先祖から続く縁かなと感じております。

亡くなるまでお寺の檀家総代を勤めた親戚は何人もいますが、今でも浄土真宗の檀家総代を代々担っている親戚もあり、この地域では浄土真宗との繋がりがや理解はかなり深いのではないかと感じております。

柄沢幸一氏（有限会社つるがや社長）

つるがや 新潟県三條市本町4丁目3-17

TEL 0256-333-0314



○次回の「三條別院に想う」は、大野鉄男氏（三條歴史研究会会長）より執筆いただきます。

▲今回から、三條の街の人々にも「別院に対する想い」を積極的に聞いていきます。第一回は、御遠忌法要で「なむの里」を作っていたいたつるがやの柄沢社長です。



別院「なむの里」をつくりました！

三條別院ではお釈迦様の誕生日（四月八日 花まつり）、親鸞聖人の誕生日（四月一日）にあわせて、子ども奉仕団・お



誕生法要を毎年開催させていただいております。初めて会う友達と共に、お寺に触れていただくことで、「いのちの大切さ・本当の私」について考えられるような、楽しい奉仕団を目指しております。本年度のスローガンも「あつまれ！ 同朋ジュニア」です。ぜひご参加ください。

◇開催日 四月三日（月）～四日（火）
◇対象 現在小学一年生～六年生の方（小学新一年生～中学新一年生）

◇会場 三條別院
◇締切 三月十日（金）必着
◇定員 四十名

※日程中に福島県から保養の子どもたちも参加します。なかよく交流しましょう！
詳細は案内チラシをご参照ください。

三条別院公開講座の講師・講題が決定

二〇一七年の三条別院公開講座の講題と講師が決定いたしました。

「伸びるアメリカ仏教と心理学との協力

—日本にも到来?—

ケネス・タナカ氏(武蔵野大学教授・日本仏教心理学会会長)

昨年に引き続きアメリカにおける仏教と浄土真宗、特に今年は実践仏教としての仏教心理学についてご講演いただきます。現在では三百万人以上とも言われる、「仏教先進国」アメリカ。日本におけるアメリカ仏教研究

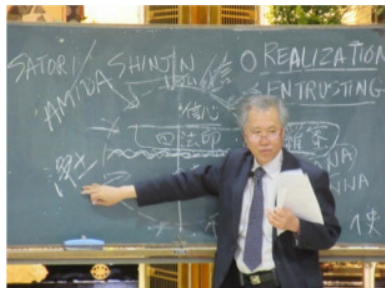


第一人者が仏教の「未来」について語る。

◆日時 五月十四日(日) 午後二時より

◆会場 三条別院 本堂

◆聴講無料 どなたでもご参加いただけます。



宗祖御命日のつどい

宗祖親鸞聖人の御命日であります毎月二十八日に、「御命日の集い」を本堂にて、日中法要と法話、その後、座談会の場を開いております。どなたでもお参りいただけます。皆様のご参詣をお待ち申し上げます。

また、今月は「年頭会」と兼ねるため、座談会をお休みさせていただきますので、ご了承下さい。なお、前日(二十七日)はお速夜法要を、午後一時三十分よりお勤めしております。

◆日時 二月二十八日(火) 午前十時より

◆会場 三条別院 本堂

◆お勤め(御命日) 日中法要

正信偈 草四句目下(同朋唱和)

念仏讚 洵三

和讃 回口 次第六首

回向 願以此功德

◎今月の法話講師

森田成美(三条別院輪番)

◆今後の講師一覧

テーマ 『歎異抄』に聞く

三月 木村邦和氏(第十二組専行寺)【第十四章】

四月 濱松智弘氏(佐渡組勝廣寺)【第十五章】

五月 中原 龍氏(第十六組福成寺)【第十六章】

六月 安原陽二氏(第十二組安浄寺)【第十七章】

▲昨年一月より、『歎異抄』に聞くをテーマに、各講師一章ずつ担当してお話しいただいています。昨年十二月は石塚祐堂氏、第十二章、いわゆる「不学難生」の異議についてでした。真宗を聞きながら、勉強し、努力する者をよしとし、そつでない者を否定する私たちのあり方は、どうなのでしょうか？



定例法話会

毎月十三日の前門首の御命日(両度の命日)に行っている定例法話会は一月は休会です。二月からの御講師は左記の通りです。

◆日時 毎月十三日 ※八月、一月は除く

午後二時三十分より(二時間程度)

◆場所 三条別院 旧御堂

◆講師

二月〜四月 武樋和嘉子氏(第十五組浄覚寺)

「おもいたつこころのおこるとき」

五月〜七月 永寶晴香氏(第十組浄敬寺)

▲二月から四月は、女性研修会スタッフや御遠慮広報部員などを勤めてこられた武樋和嘉子氏お話しいただきます。五月から七月は、報恩講実行委員会法要部会委員で、報恩講お待ち受け音楽法要における女性僧侶による助音の指導も行っている永寶氏にお話しいただきます。

その他の講座案内

○別院声明教室(全五回・途中参加可能)

〔月一回、午後六時〜八時〕

二月二十一日(火)、三月二十一日(火)

四月十八日(火)、五月十六(火) 六月二十日(火)

講習内容 真宗大谷派勤行集(赤本)

講師 長田 暢氏(第十六組 善願寺)

参加費 五〇〇円/回



真宗大谷派勤行集(赤本)から、正信偈草四句目下、念仏讀三洵、回向、御文などを稽古します。また、実際に筆で節符をなぞり声明節符をひもときます。

○別院書道教室

〔月二回第一、第四水曜日、午後六時三十分〜八時〕

講師 木原光威氏(新潟県書道協合理事)

月謝 二七〇〇円(テキスト代含む)

参加者に伝道掲示板に法語を順番に担当して書いていただく試みが、一月二十三日の三条新聞に掲載されました。



随時募集中

○別院奉仕研修

日程及び内容についてはご相談ください。

◎冥加金 日帰り一五〇〇円、一泊二日二五〇〇円

◎食事代(昼・夕食は業者発注)

・朝食代 五〇〇円、昼食代 一〇〇〇円程度

・夕食代 一三〇〇円程度

○庭講(清掃講)

三条別院庭講は本年も様々な行事を予定しております。

ご一緒に別院の庭を整備していきませんか?

ぜひ、お気軽にご参加ください。写真は昨年十月に行われた庭講研修会における第十六組浄専寺庭園(新潟県文化財)拝観とにいがた庭園文化交流協会副会長 土沼隆雄氏特別講義の様子。



○三条別院有志の会

もともと三条別院のお朝事にお参りしているご門徒からはじまった清掃奉仕・法話・座談を中心とした有志の会です。月一回の例会、別院行事に併せた奉仕活動や季節ごとの懇親会を行っております。

○三条別院巡回

三条別院から御本尊(絵像)をお迎えして、開法会を開催しませんか? 輪番と随行一名でお勤めと法話を行います。集会所やご門徒宅等で開催できますので、会場や時間などはご相談ください。

◆◆編集後記◆◆

毎日の晨朝やその他の法要で、列座は基本的には決まった順で並ぶ。その日の齧荒役は調声人である輪番(中央)の右隣に座るが、後の者は別院に入った順番に祖師側(右)から座る。そのことについて、毎日毎日、悶々と、考えさせられる。世間では、恐らく能力や成果によって、座る順序が変わることが普通なのかもしれないが、私が教わってきたこの別院では、ただ、入った順番に右側から座る。頑張つて座る位置が上がることもなければ、なまけていても下がることもない。これはゆるい世界なのか? 少し脱線するが「こんなこと世間では通用しない」という批判が嫌いである。私たちが座っている場所は、世間ではないでしょう?と思う。厳しいのは、能力がなくても、成果をだしていなくても、右に座らなければならないこと。役割を果たすべき位置にいないこと。反対に能力があつても、成果をだしても、奢らず右側の声に絶えず耳を傾けていなければいけないこと。例年に増して寒い真冬の本堂で考える。(斎木)